

活動報告

団体名	Union International Association for Volunteer
活動名	平成30年7月豪雨のための緊急復旧支援事業
活動期間	2018/08/29
活動の成果	<p>被災地に入り支援活動を行う中で、当会の基本として報道に取り上げられにくく、復旧の格差が生じている地域での活動を行った。その中で復旧作業効率向上のために機材整備・リースを推進し、作業スタッフの安全を重視し、特殊ボランティア活動及び一般ボランティアの作業効率最大化を目指した。</p> <p>さらに、作業現場での新たな課題の発見、技術・作業の改善（新しい作業機材、機材の改善検証）を行った。</p> <p>また、ボランティアセンターの運営、救援現場での助言を通してボランティア作業の負担軽減と作業効率向上を果たした。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>皆さん一人一人の「思い」を私たちは現地での活動という形にすることができました。誰か一人でも「思い」が欠けてしまうと被災地・被災者支援は「形＝活動」にはなりません。私たちは1995年1月17日兵庫県南部地震で多くの方々の「思い」のおかげで「今」を生きることができています。皆様に「生かされ」だからこそ「できること」を続けてきました。</p> <p>24年の被災地での活動経験は、活動を重ねるたびに一般ボランティアが安全に負担軽減、作業の効率化を推進し、できる限りの被災者の要望に応えることのできる技術と機材整備、あらゆる現場に対応できるように常に機材の工夫を行うことができることはご支援者ひとりひとりの「思い」であると、心からお礼申し上げます。今後も、皆さんの「思い」を被災地での活動として実践できるように感謝と努力を忘れません。本当にありがとうございました。</p>

(活動のようす)

